

要綱第3号様式

事業者排出量削減報告書

(宛先) 京都市長殿 報告者の住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 東京都千代田区大手町1-5-5	平成26年7月22日 報告者の氏名(法人にあっては、名称及び代表者名) 株式会社みずほ銀行 取締役頭取林信秀 電話 03-3214-1111
---	--

主たる業種	普通銀行					細分類番号 6 2 2 1	
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ又はウ <input type="checkbox"/> エ						
計画期間	平成23年4月から平成26年3月まで						
基本方針	平成22年度を基準に、平成23~25年度の温室効果ガス排出量を平均3.1%以上削減する。						
計画を推進するための体制	各種機器・設備の適正な運転管理を担う現地管理会社を含め、関係担当者間会議において実行計画の追跡管理を実施する。						
温室効果ガスの排出の量	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	増減率	
	事業活動に伴う排出の量 評価の対象となる排出の量	2,585.3トン 2,585.3トン	2,198.1トン 2,198.1トン	2,152.7トン 2,152.7トン	2,160.7トン 2,160.7トン	-16.1パーセント -16.1パーセント	
実績に対する自己評価							
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原単位の指標	基準年度 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	増減率
	貸事務所	事業活動に伴う排出の量 (延べ床面積(万m ²))	596.67	484.98	474.96	476.73	-19.74パーセント
		事業活動に伴う排出の量 ()					パーセント
実績に対する自己評価							
重点的に実施する取組の実施状況		基準年度 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	備考	
		82.0マン	82.0マン	82.0マン	82.0マン		
具体的な取組及び措置の内容	(23)年度	熱源設備の性能把捉、ポンプ流量設定機能の把捉、吸排管の冷水ポンプ停止。冬季の夜間製氷運転の停止。					
	(24)年度	吸排管の冷水ポンプの停止。冬季の夜間製氷運転の停止。					
	(25)年度	吸排管の冷水ポンプの停止。冬季の夜間製氷運転の停止。					
通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施した措置	措置の内容	社内規定により原則自動車通勤禁止					
	上記の措置を実施した結果に対する自己評価	自動車による通勤なし					
	区分	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	備考		
	森林の保全及び整備によるもの	0.0トン	0.0トン	0.0トン			
	地域産木材の利用によるもの	0.0トン	0.0トン	0.0トン			
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの	0.0トン	0.0トン	0.0トン			
	グリーン電力証券等の購入によるもの	0.0トン	0.0トン	0.0トン			
温室効果ガス排出量の削減又は吸収の量の購入によるもの	0.0トン	0.0トン	0.0トン				
合計	0.0トン	0.0トン	0.0トン				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	《みずほ》では、社員一人ひとりが身近に取り組む環境への配慮行動を宣言する「エコアクション宣言」を行ない、宣言した社員20人につき1本の苗木を寄付しています。2008年度より実施しており、毎年約千本以上の苗木を寄付してきています。						
特記事項	2014年4月1日：代表取締役 佐藤 康博 → 取締役頭取 林 信秀 に変更 2014年5月7日：主たる事務所の所在地（本店）東京都千代田区丸の内1-3-3 → 東京都千代田区大手町1-5-5に変更						

注1 該当する□には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。

2 「細分類番号」とは、統計法第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。

3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。

4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。